

活用方針・導入/活用までのステップ



VLP取組概要

■ VLP活用のねらい

- どこにもつながりのない不登校児童・生徒に対し、バーチャル空間内で他者とコミュニケーションをとることのできる居場所を提供するとともに、学びたいときに学べる環境を確保する。

■ 対象生徒・児童

- チャレンジ学級・あすテップへの通級が不規則な児童・生徒や通級に踏み出せない児童・生徒
- 対面による支援が困難な児童・生徒

■ 運営時間

- 平日（月から金） 午前10時～午後3時

■ 活用方法

- 学習教材（AIドリル等）を用いた個別学習
- 支援員とのチャットによる交流
- バーチャル空間内でのコミュニケーションを目的とした「オンライン部活」



VLPの導入/活用までのステップ

- ① **利用希望の確認**
 - ・不登校児童・生徒に利用の意思確認。
- ② **利用希望者の報告**
 - ・支援担当者(教育相談員、学校、SSW)決定。
 - ・支援担当SSWから課へ利用希望者リスト提出。
- ③ **申込書等の提出**
 - ・不登校児童・生徒の保護者が申込書等を学校に提出。
 - ・学校が申込書等を担当課に提出。
- ④ **アカウントの発行**
 - ・担当課は利用希望者リストと申込書等が届き次第、アカウントを発行し、教育相談員または学校へアカウントを送付。
 - ・学校はアカウントを支援担当者（担任やSSW）へ渡す。
- ⑤ **接続確認**
 - ・支援担当者は、利用者にアカウントを配付するとともに、接続方法の確認・支援をする。

活動・取組み内容

活動・取組み内容

【導入前】

- チャレンジ学級やあすテップと利用の手続き等について調整した。
- 区内全校を対象とした教員向けの事業説明会を実施した。
- 学校が自由に体験できる体験期間を設け、学校の教職員が実際に動かすことができるようにした。
- 教育相談員、学校、SSWから希望する不登校児童・生徒に対して活動内容を説明した。

【導入初期】

- 利用者に対して、バーチャル空間内で操作の説明を実施した。

【運用期】

- 活用状況を把握し、参加頻度が低下している児童・生徒には、支援担当者から声掛けをした。
- 毎月の活動報告を学校、利用児童・生徒に送付し、振り返りを行った。
- 直接チャレンジ学級やあすテップへ見学に行けない児童・生徒が、バーチャル空間上で様子を見られるようにチャレンジ学級やあすテップの紹介を掲示したり、そこでやっているオンライン授業を見られるようにした。



3 オンライン授業 配信スケジュール

MARCH 2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4 理科	5	6	7	8
9	10 ICT	11	12	13	14 公民 英語	15
16	17 国語	18 理科	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

【ICT・国語】 10:50～11:35
【公民・地理】 10:50～11:35
【理科】 13:10～14:00
【英語】 13:10～14:00

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ 保護者との関係がよくなかったり、家庭内での会話がなかったりした不登校児童・生徒が、バーチャル空間で、家族以外の他者とつながり、会話につなげることができた。
- ✓ 日頃、引きこもりがちで、学習を行っていなかった不登校児童・生徒が学習コンテンツに興味を持ち、個別学習に取り組めた。
- ✓ 毎月の利用報告をすることで、日頃仕事で家を空ける保護者が、利用報告の学習履歴から普段不登校児童・生徒が何をしているかが伝わり、利用者と家族やSSWとの会話が増えた。

次年度以降の方針

- ✓ 利用児童・生徒の様子を在籍校にフィードバックするとともに、本事業の内容・効果を研修等で各学校に周知し、支援を必要としている児童・生徒に届くようにする。
- ✓ 専任の指導員の確保とコンテンツの見直しを進めることで、バーチャル空間内での不登校児童・生徒の居場所の充実を図る。

利用者の声



児童・生徒

- 家族以外の人と関わるのが苦手だったが、支援員や他の子たちとVLP内で一緒に過ごし、遊べるようになった。
- VLPで一緒に過ごす子に、(バーチャル空間内で) 遊びに誘われたり励まされたりすることがあった。



教職員や保護者等

- 不登校で引き籠りってしまう児童生徒にとって、一つの方法として非常に興味深い。
- VLP自体は不登校生との親和性があり有効だと思うが、反面、ネットリテラシーのない生徒達がネット上で繋がる等の不安もある。
- 学校にいけなくても学習したい、誰かと関わりたいと思う児童生徒には有難いシステムだと思った。

令和6年10月

～オンライン仮想空間での支援～

VLP足立 「Let's」

足立区では、チャレンジ学級やアオテップへの通級に踏み出せない、または通級が断続的な児童・生徒を対象に、東京都が推進しているバーチャルラーニング・プラットフォーム事業（東京都VLP）に参加しています。

※Let's: 「(一緒に) ~しましょう」という誘いの意味。

(Let's go, Let's try, Let's play... 一緒に何かやってみよう! という思いを込めて)

- 【参加方法】: ①担当の教育相談員・SSWに相談し、アカウントを申請・取得**
②学校に相談し、アカウントを申請・取得 (※①以外)

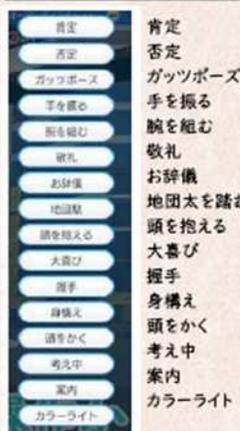
学校配付タブレットで
自宅からログイン



人や動物のアバターを使って参加



エモートを使って気持ち表現



「Let's」の中には、いつも東京都の支援員がいます。何か分からない時は、いつでもチャットで声をかけてください。もちろん、楽しいおしゃべり会話もOK!

《利用時間》

- ・月曜～金曜 (祝日を除く)
- ・9:00～16:30

【お問い合わせ】

足立区こども支援センターげんき教育相談課
不登校施策担当
(受付時間 平日8:30～17:00)

★時間割★

	月	火	水	木	金	
9:00	開室					
10:00	Free オンライン授業(月曜・金曜)、AI学習、おしゃべり、アトラクションなど					自由時間
12:00	昼休み					
13:00	AI学習、集合学習、グループ学習、個人自習、オンライン授業受講など					学習時間
14:00	プログラミング部	お絵描き部	運動部	週替わり部活 第1週: 借り物競争部 第2週: 漫画部 第3週: 音楽部 第4週: あそ部	Free	
15:00	閉室					
16:30	閉室					

【自由時間】 特に決まりはないので、自由に過ごす時間 ※用がある時は支援員に声を掛けてください

- ・支援員や参加生徒とおしゃべりする
- ・オンライン授業を視聴する
- ・ホワイトボードで絵を描く
- ・AI学習をする
- ・階段ゲームをする
- ・ただ、居る

【学習時間】 オンライン授業視聴、AI学習、集合学習、グループ学習、個人自習など、本人の望む形式で学習

- ・オンライン授業: 月曜日、火曜日、金曜日(隔週)のオンライン授業を視聴
- ・AI学習: デキタス、みんなでプログラミング、Qubena、eライブラリ
- ・集合学習: 実施方法を現在検討中
- ・グループ学習: 複数生徒で一緒に学ぶ

Let's try!

まずは部活から
色々あって楽しいよ!

＝ オンライン部活 ＝

月曜: プログラミング部 (14:00-15:00) #みんなでプログラミング

第一木曜: 借り物競争部 (14:00-15:00)

火曜: お絵描き部 (14:00-15:00)

第二木曜: 漫画部 (14:00-15:00)

水曜: 運動部 (14:00-15:00) たいしく体を動かそう! キメーラです

第四木曜: あそ部 (木曜日 14:00から15:00)

第三木曜: 音楽部 (木曜日 14:00から15:00)